

～DX人材育成プログラム「Dive in Digital Transformation (DX)」～
“DX Startup Seminar”

DX時代と呼ばれる現在、技術の進化によって様々な産業において今までの常識であった事柄が覆され、大きな変革が起きています。また、事業のライフサイクルが短期化しており、既存事業だけでは企業が長期にわたり存続していくことが難しい状況にあります。

本セミナーでは、DX時代に対応するために動きだそうとしている企業様を対象に、DXにまつわる現状や、企業に求められる変化とは何かをご理解いただき、自社におけるDXを推進するためのヒントをご提供します。

日程

2020年2月21日（金） 14:00～17:00
（受付 13:30 より）

会場

NTT DATA 駒場研修センター
（井の頭線駒場東大前徒歩5分）

費用

無料

対象

以下のいずれかに該当する事業部またはIT部門の方（部課長～主任クラス）

- ◆ DXとは何かなど情報収集を行っている
- ◆ 現在のビジネスや技術的な環境の変化について興味がある

※業界は問いません

◆登壇者のご紹介



井出 昌浩（いでまさひろ） 株式会社クニエ デジタルラボ運営

- ◆ 博士（数理情報学）
- ◆ インドネシア BINUS大学 客員教授
- ・ デジタル技術活用のコンサルティング担当
- ・ 株式会社クニエのデジタルラボを運営し、デジタル技術活用の調査研究を実施
- ・ 様々な業界におけるデジタル技術活用の企画・実装、デジタル人材育成に従事
- ・ 専門分野は「デジタルビジネスモデル/ビジネスモデルイノベーション」
「デジタル技術（アナリティクス/AI、IoT）」

◆セミナーのポイント ※当日の内容は多少変更する場合がございます。

- ポイント① 「DXとは何か」や「世界で何が起きているか」が豊富な事例を基に理解でき、DXを進めるうえでの着想を得ることができます。
- ポイント② DX時代に「求められる変化」について様々な角度から学ぶことができます。
- ポイント③ DX時代を推進する上で必要となる思考法や利用される技術内容を学ぶことができます。

DX時代に備えるヒントがここに！

お申込み

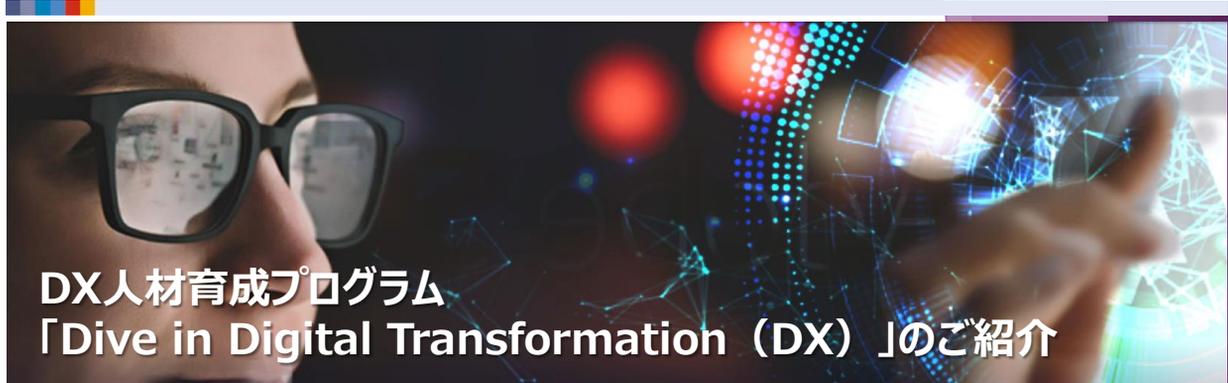
■ Dive in DX専用サイト内のお申込みフォームよりお申し込み下さい。

URL <https://www.nttdata-univ.co.jp/dx/>

■ メールもしくはお電話にてご連絡ください。

株式会社NTTデータユニバーシティ セールスプロモーション部 Dive in DX受付窓口

メール dx_training@nttdata-univ.co.jp / お電話 03-5738-3808



DX人材育成プログラム 「Dive in Digital Transformation (DX)」のご紹介

DXが求められる背景

デジタル化により、複雑性やスピードが飛躍的に増大し、従来のビジネスモデルや業務、組織は大きな変化を迫られています。DXの推進には、ビジネスとテクノロジーが一体化することが不可欠と考え、ビジネスとITの両面がわかる人財育成、変化に俊敏に対応できる組織づくりといった視点に重点を置いた育成プログラムを開発いたしました。

Dive in DXとは？

DX人材育成プログラム「Dive in DX」は、DXをめぐる人材育成、組織開発における最新のニーズを取り込み、**IT部門などのテクノロジーサイドと、事業部門をはじめとしたビジネスサイド**の両面における**リーダー層、メンバー層**を対象としたサービスです。

プログラムは大きく分けて、「DX Startup Seminar」「DX Workshop」「Session/Bootcamps」の3部から構成されており、本セミナーは最初の導入にあたるプログラムとなります。



Dive in DXの強み

「Dive in DX」は、NTTデータグループが、社外、社内に適用しブラッシュアップさせてきた組織・人材育成プログラムをベースにしています。

デジタル化が「これから」の方ももちろん、「思うように進められていない」方々にも、推進役のマネージャ層の育成からスタートすることが可能です。



お申込み

■ Dive in DX専用サイト内のお申込みフォームよりお申し込み下さい。

URL <https://www.nttdata-univ.co.jp/dx/>

■ メールもしくはお電話にてご連絡ください。

株式会社NTTデータユニバーシティ セールスプロモーション部 Dive in DX受付窓口

メール dx_training@nttdata-univ.co.jp / お電話 03-5738-3808